

まちの話題



2月21日(木)

年を重ねてもおいしく食事できるように

「嚙んで健康、口腔機能を向上させる」と題した健康講話が吉浜ふれあいプラザにて行われました。講師を務めたかとう歯科クリニックの加藤雅民先生は、「おいしく楽しく食事ができるよう、口腔機能を向上させることは、病気から身を守ることにもつながる」と話しました。講話の中では、嚙下運動を活性化するためのマッサージなどの実演も行われ、参加者は熱心に取り組みました。



「おいしく楽しく食事ができるよう、口腔機能を向上させることは、病気から身を守ることにもつながる」と話しました。講話の中では、嚙下運動を活性化するためのマッサージなどの実演も行われ、参加者は熱心に取り組みました。

2月23日(土)

2人の市長のまちづくりへの想い

16回目を迎えた「ざっくばらんなカフェ」。今回はいきいき広場にて、長久手市の吉田一平市長と、高浜市の吉岡初浩市長がそれぞれのまちづくりについて熱く語りました。

吉田市長が「地域共生ステーション」と呼ばれる市民と行政が地域の課題などについて気軽に話し合える場を小学校区ごとに設けるという構想について話すと、吉岡市長は「地域の課題を地域で解決しようという現在のかたちは、市民と行政が共に汗かき、協働することにより成り立っている」と、今後の地域住民主体のまちづくりについて率直に語り合いました。

対談後の質疑応答の中で、「今回のような催しを今度は長久手市で開催して欲しい。」という声があがり、会場の参加者から満場一致で賛成の拍手が起こりました。2つのまちの交流は更に深まりそうです。



2月19日(火)～2月24日(日)

瓦の芸術が集結!

愛知県陶器瓦工業組合主催の、瓦を素材とした作品を競う「飾り瓦コンクール」が、かわら美術館にて開催されました。鬼師をはじめ、美術大学の学生などからも多数の作品が寄せられ、県外からも作品の応募がありました。



【大賞】「名もなき日々の中で」
飯田夏代(愛知県立芸術大学)

高浜市の名物である鬼瓦の作品から、抽象的なイメージをかたどったユニークな作品まで、多くの素晴らしい作品が展示されました。大賞に輝いた作品のほか、出品作品の一部を紹介します。



【高浜市長賞】「The essence of bird」
大森爾子(名古屋芸術大学)



「長寿」
石川智昭(高浜市)